

学術セミナー開催のご案内

「急増する経年劣化構造物をどうするか」 — 社会資本の明日を支える非破壊検査 —

【主催】 社団法人 日本非破壊検査協会

【協賛】 関連学協会（依頼予定）

【開催要領】

[期 日] 平成21年6月26日（金）13:00～16:50

[会 場] 東京理科大学 森戸記念館 第2フォーラム
〈東京都新宿区神楽坂 4-2-2〉

[参加費] JSNDI 会員 : 2,500 円
協賛会員 : 4,000 円
非会員 : 9,000 円
新規に入会する会員 : 無料

※今回の学術セミナーを機会に当協会会員として新規入会される方は、参加費を無料とさせていただきます。セミナー参加申込時に会員入会申込書と同封して下さい。詳しくは、セミナー事務局までお問合せ下さい。

[定 員] 80 名

※定員になり次第締め切りますのでお早めにお申込下さい。

[懇親会] 同日 17:00～19:00

東京理科大学 森戸記念館
懇親会費 5,000 円

***【本セミナーは、クレジット・システム「分類 B」の「NDT セミナー」に該当しております】**

【開催趣旨】

高度成長期に整備された社会資本の経年劣化とその維持管理が大きな社会問題となっています。

建築分野では、改正・施行された建築基準法において、歩行者に危害を加えるおそれのある建築物の外壁全面検査と結果報告が義務付けられるようになりました。これを受け、国土交通省住宅局の監修のもと、(財)日本建築防災協会で建築物の検査マニュアルが作成されました。全面検査の在り方は、基本的には打音検査としながらも、赤外線検査も可とする内容が盛り込まれています。これも非破壊試験の技術革新に対する期待の高まりを示すものであります。また、土木構造物においても、竣工検査時の義務あるいは耐久性能の確保のために、初期欠陥や鉄筋かぶりに対する非破壊試験への期待は高まっています。

一方、維持管理の義務化、品質確保法の施行等とあいまって、近年構造物への非破壊検査の導入は急増する傾向にあります。さらに、鋼及び鉄筋コンクリート構造物の経年劣化は社会不安に繋がる懸念もあるため、診断上必要不可欠となる非破壊検査の導入は、管理者にとっての急務となっています。

構造物の耐久性とかかわる非破壊試験は、例えば、透気・透水性も含めると多岐多様にわたっています。そのため、今回のセミナーでは、建築分野及び土木分野における鉄筋コンクリート及び鋼構造物に関するこの方面の第一人者をお招きし、ご講演頂くことを企画しました。また、需要が高まりつつあるこの方面にご興味のある方々との忌憚のない意見・情報交換を行えるよう、懇親会も企画いたしましたので、奮ってご参加頂ければ幸いです。

【講演者】

佐藤建築事務所 佐藤紀男氏

大阪大学 阪上隆英氏

東京大学 岸 利治氏

東京工業大学 三木千壽氏

【申込方法】

申込書及び開催案内（講演要旨）は、当協会のホームページ (<http://www.soc.nii.ac.jp/jsndi/>) からダウンロードして下さい。

1. 参加費を次の口座にご送金の上、所定の申込書を学術セミナー事務局宛に郵送、FAX 又はメールでお申し込み下さい。折り返し受講券を送付致します。（開催日2週間前に発送予定）

振込口座 三井住友銀行 浅草橋支店
普通預金 0920197

口座名義 社団法人 日本非破壊検査協会

*申込み受付完了後の参加費の返金は出来ませんのでご了承下さい。

2. WEB システムからも申込み可能です。
(<https://www.jsndi.or.jp/websys/>)

【問合せ先】

(社) 日本非破壊検査協会 学術課
学術セミナー事務局

TEL: 03-5821-5105 FAX: 03-3863-6524

「森戸記念館」現地案内図

